

復興支援フォーラムニュース No. 74

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

東北に春を告げるまち

広野町の被害の状況と復興の課題

～ “幸せな帰町・復興” に向けて～

広野町長 遠藤 智

- ◆ 広野町の位置と概況
- ◆ 広野町の交通条件
- ◆ 航空機サーベイによる空間線量率
- ◆ 震災による被害状況(人的被害)
- ◆ 震災による被害状況(物的被害 公共施設)
- ◆ 震災による被害状況(物的被害 家屋)
- ◆ 東日本大震災から避難指示解除まで①～③
 - ① <<平成23年3月11日>>
 - ② <<平成23年3月12日>>
 - ③ <<平成23年3月13日>>
- ◆ 震災以降の避難の流れ
- ◆ 一次避難(小野町体育館、三郷市瑞沼市民センター)
- ◆ 二次避難(ハワイアンズ)
- ◆ 三次避難(仮設住宅)
- ◆ 避難者の状況

- ◆除染の状況(平成26年7月10日現在)
- ◆作業員の状況(平成26年2月時点)
- ◆小中学校等の再開(平成24年8月27日)
- ◆小中学校等の様子
- ◆全国からのご支援状況
- ◆JFAアカデミー福島との交流
- ◆復興に向けた賑わい事業①～④
- ◆農業の復興
- ◆みかん狩りの再開(平成25年12月17日)
- ◆復興計画(第二次)概要
- ◆復興計画(第二次)基本方針
- ◆復興計画(第二次)具体的な取組
- ◆現在進めている主な事業
- ◆災害公営住宅イメージパース
- ◆復興計画(第二次)アンケート調査結果
- ◆生活環境の整備
- ◆交通機関の状況
- ◆新たな動き
- ◆原子力損害賠償内容
- ◆賠償の取組

第71回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

8月7日、第71回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

佐藤英雄氏(福島信用金庫常務理事)から「土湯温泉における再生エネルギー事業について ～復興・再生の現場(バイナリー発電、小水力発電)から～」をテーマに報告をいただきました。

32人が参加、活発な質疑応答がなされましたが、会場で提出されたご意見(感想)等は、以下の通りです。

~~~~~

- ★ 金融機関の発想と事業化の課題について、日頃きかない話を聞いた。(Y.I)
- ★ 小生等が関わったテーマであり、今回初めて出席させて頂きました。発電事業が開始し、実績が出てようやく評価されることになると思いますが、上手く行って欲しいと願うばかりです。(K.H)
- ★ 土湯温泉の生き残りは、やはり温泉力だと思います。温泉の力で人を呼び込める様々な取組みを今後も引き続き頑張っただけであれば、きっといつか輝いていた当時の土湯に戻るのではないかと、今日の話聞いて感じました。(H.O)
- ★ 興味深い話、有難うございました。地元での自立的なファンド等の資金循環をお考えになられてもいいですね。ご成功をお祈りします。(T.M)
- ★ 発送電分離が第一と感じました。(M.T)
- ★ 大変おもしろく聞かせて頂きました。(H.A)
- ★ 本来のテーマとはずれますが、最初の設問で思っていた以上に、土湯温泉の地震による被害が大きく、キャパシティ自体が、震災前の半分程度まで落ちていたことに驚きました。地熱発電は、会津の発電所も見てきましたが、土湯のバイナリーは新しく井戸を掘って作るのではなく、今ある井戸の湯を使うため、湯脈が変わらないというのは、勉強になりました。いくら理念が高くても、採算性が悪いものは実現・長続きしないというのは、その通りだと思います。(K.Y)
- ★ 興味深い話、ありがとうございます。(Y.M)
- ★ 先日、元気アップつちゆから話を聞く機会がありましたので、また別の視点からの話が聞けてとても勉強になりました。金融機関からの、復興や自然エネルギーの推進へのサポート支援で、福島を盛り上げていただければと思います。(S.K)
- ★ 震災後の湯の街「土湯温泉」の再生を目指して、バイナリーサイクル発電及び小水力発電事業に取り組まれてこられた姿に感動いたしました。(特に「産学官民金」の連携のもとにおこなわれてきたことに) (K.F)
- ★ コンサルや、大手企業が入らず、地元の人財が地元の自然財を金に換えるところが素晴らしいと感じました。とても面白いお話ありがとうございました。土湯に行くと温泉に入りたくなるような楽しい活動があると良いと思います。泥んこになるような、汗だくになるような、人力発電所とか・・・。(H.S)
- ★ たとえ規模が小さくとも、ポリシーをもって必要だと思われることを、愚直に取り組めば、必ず評価できる(大企業からの協力入手)ということ強く敬服しました。(D.T)
- ★ 貴重なお話が聴くことができ、良かったです。小さな温泉地の2名で動かしている会社が、多くのお金を借りて実施している事に、驚きました。極意をお聞きしたいです。(K.O)

★ 地域おこし、小さな団体（小規模事業者）、「あくまで」地域の活性化していく為の事業、地域での循環 etc・・・自分自身の仕事とも共通する点が多く、すばらしいスタートを切ったが、日本で先行事例がない事業なだけに、これから様々な困難に直面していくと思うが、がんばって欲しい。（S.S）

★ 土湯のまちづくり、その中で行われている再生エネルギー事業として興味深く聞きました。大手もコンサルも入っていないで、行われたことを聞いて、とても痛快でした。（Y.I）

★ 土湯の特色を、大変生かした構想で、地元の信金の方なので、様々な角度から考えている上での内容と思われた。地元を主に考えた内容で、非常に有益で、ぜひ発展させて欲しい。尚、土湯の特色（温泉量に影響しない）などをはじめから話されるとよいと思いました。

★ 原発被災からの復興を考えると、再生エネルギー問題は避けて通れないが、大手企業が太陽光発電等に、参入してきているが、これは富の都会への吸い上げにしかないのではないかと懸念している。土湯の例のように、地元還元される事業が、無数に展開されることに期待しています。それが、街の活性化のたまの街づくりと歩調を合わせていることに感動しました。がんばってください。期待しています。（T.K）

~~~~~

【予告】第73回フォーラム 2014年9月9日（火）18:30～20:30

「老人福祉施設における避難及び復興に取り組む現在の課題」

報告者：高木健氏（福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会復興委員会事務局長
デイサービスセンターゆずのさと 施設長）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

視聴覚室（MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）

~~~~~

【予告】第74回フォーラム 2014年9月18日（木）18:30～20:30

「福島の小さな町から始まったアート／土湯アラブドアートアニュアルの事例」

報告者：ユミソン氏（現代芸術家／アラブドアートアニュアル総合ディレクター）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

大活動室1（MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）

~~~~~

【予告】第75回フォーラム 2014年10月9日（木）18:30～20:30

「過去の災害の経験から見えること」

報告者：高木亨氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授）

会 場：福島市 市民活動サポートセンター A会議室

（チェンバおおまち3F／福島市大町4-15）

~~~~~

【予告】第76回フォーラム 2014年10月23日（木）18:30～20:30

「原発事故後のリスクコントロール教育実践から」

報告者：二瓶由美子氏（桜の聖母短期大学教授）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

大活動室1（MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）